

【安全とマナーだけを考えて歩く】

2年生より上の学年の皆さんは知っているルールがあります。それは、「しゃべ禁」。「しゃべることは禁止」というルールです。特に、外で学習するときの駅への行き帰り、そして電車の中では「しゃべ禁」です。また、バスまでの行き帰りも「しゃべ禁」です。

「しゃべ禁」は、何のためかを考えましょう。校外学習では、行きや帰りも大事な学習です。交通安全やマナーだけを考えて歩いてほしいのです。

家族でお出かけする時と違って、縦に長く並んで歩くことは、とても難しいのです。先頭にいる先生の声がいつでも聞こえないといけません。また、車が来た時や道路を渡るときなどには、全員で一斉にさっと止まったり、素早く動いたりする必要があります。また、いつでも安全でちょうどいい間隔を考えながら歩く必要もあります。それは、難しいことです。きよろきよろしていたりおしゃべりに夢中になっていたりしたら、できないことです。

特に今は、コロナの関係で、学校の外にお出かけをすることが少ないです。だから、この「しゃべ禁」の練習をするチャンスが少ないです。

8月の終わりには、全校でパラリンピックの車椅子バスケットボールを見に行けるかもしれません。それは、真夏のおても暑い日かもしれませんね。

「しゃべ禁」は、学校の中でも練習できます。例えば、給食時間。例えば、専科教室への行き帰り。例えば、読書の時間。「しゃべ禁」ルールを守れる学級になりましょうね。